

小論文特別講座

高1・高2生対象

大学受験生対象

▼通信教育の「受験小論文コース」「小論文(高1・高2生向けコース)」に、
オンラインでの個別指導をあわせた特別講座



+



大学受験生向けコース 専科 受験小論文コース
または
高1・高2生向けコース 専科 小論文

※ Z会の通信教育 大学受験生向けコース専科「受験小論文コース」または高1・高2生向けコース専科「小論文」を使って指導しますので、通信教育の受講が前提となります。

▼小論文の学習とは

小論文を書くためには「準備」が必要。

- 小論文を書くためには、
- ① 「小論文とは何か」を知ること
 - ② 出題テーマについて、興味・関心をもつこと
- が必要となります。



小論文なんて書いたことないし、
与えられたテーマについてもよく知らないし、
どうしたらいいの？

小論文の学習を進めていく上で大切なのは、「最初から完璧を目指さない」ということ。

小論文にかかわらず、記述・論述系の答案を作る必要のある科目では、第三者に自分の書いた答案を評価してもらい、ブラッシュアップを行うことが不可欠です。

Z会の通信教育小論文コースは、添削問題を提出し、答案が返却されたら添削コメントを読んで、「どんな点が相手に伝わりにくく、どのようにすれば説得力のある論述になるのか」を学んでいくことで、小論文が上達します。



でも、一人での復習はとても大変。
書き直してみたけど、誰に見てもらえば
いいの？

そこで、Z会のオンライン個別指導！

Z会のオンライン個別指導「**小論文特別講座**」では、

1. 与えられたテーマについて、**あなたの中にある考えをコーチが問いかけることによって引き出し、小論文の形にまとめる**にはどうしたら良いかを学んでいきます。
2. 答案提出後は、添削指導で入った**朱筆をコーチがあなたと一緒に読み解き、どこをどう直せば説得力のある小論文になるかを、あなたと一緒に考えて**いきます。

「**コーチと一緒に考えたことを踏まえて答案を作成**」

→ 「**作成した答案を再度、コーチに見てもらう**」

この繰り返しで、小論文作成の力をつけていきます。

▼小論文学習の大切さ

ところで、小論文の学習はなぜ必要なの？



1. 大学入試で必要なところがたくさんあります！

特に、**推薦・AO入試**や一般入試の**後期日程**では、**小論文**で、受験生がどのような人物であるかを見極めるところが多いです。小論文が課されていない場合も、**推薦・AO入試**では**志望理由書**を書く必要があります。

一般入試前期日程においても、**医学部医学科**志望者はほとんどの大学で面接が課され、**志望理由書**を書く必要があります。また、**看護学科**や**教育学部**では、**小論文**が課される場合が多いです。

【参考】 一般入試で小論文が課される主な大学・学部（抜粋）

【国公立大学 前期日程】

旭川医科大学(医学部看護学科)、群馬大学(医学部医学科・保健学科・教育学部)、
東京医科歯科大学(医学部保健衛生学科・歯学部口腔保健学科)、東京学芸大学(教育学部)、
横浜国立大学(都市科学部・教育学部)、横浜市立大学(医学部医学科・看護学科・国際総合科学部)、
山梨大学(医学部看護学科)、名古屋大学(法学部)、名古屋市立大学(看護学部)、
滋賀医科大学(医学部看護学科)、京都府立医科大学(医学部看護学科)、大阪府立大学(地域保健学域)、大阪教育大学(教育学部)、
奈良県立医科大学(医学部看護学科)、和歌山県立医科大学(保健看護学部)、広島大学(総合科学部) など

【国公立大学 後期日程】

北海道大学(教育学部・法学部・経済学部)、秋田大学(教育文化学部・医学部医学科・保健学科)、
筑波大学(人文文化学群・生命環境学群・理工学群・情報学群)、群馬大学(社会情報学部・教育学部・医学部(保健学科))、
千葉大学(文学部・園芸学部)、お茶の水女子大学(文教育学部)、首都大学東京(都市環境学部)、
東京医科歯科大学(医学部医学科・歯学部歯学科)、横浜国立大学(都市科学部)、
信州大学(人文学部)、金沢大学(人間社会学域)、浜松医科大学(医学部医学科)、
京都府立大学(公共政策学部)、大阪教育大学(教育学部)、大阪市立大学(文学部・法学部)、
大阪府立大学(生命環境科学域・地域保健学域)、神戸大学(文学部・法学部・理学部・国際人間科学部)、
岡山大学(文学部・法学部・経済学部・農学部・医学部保健学科・歯学部・薬学部)、広島大学(経済学部・教育学部・歯学部)、
九州大学(文学部・法学部・経済学部・農学部)、熊本大学(文学部・法学部・工学部)、
鹿児島大学(法文学部・教育学部・工学部・農学部・水産学部・医学部医学科・保健学科) など

【私立大学】

自治医科大学(医学部医学科)、青山学院大学(文学部フランス文学科・総合文科政策・地球社会共生学部)、
慶應義塾大学(文学部・法学部・総合政策学部・経済学部・商学部・看護医療学部・環境情報学部)、
法政大学(文学部)、早稲田大学(スポーツ科学部) など

※「受験小論文コース」「小論文(高1・高2生向けコース)」は、慶應義塾大学商学部の「論文テスト」には対応していません。
また、英文問題や、理科の論述型問題にも対応していません。

2. 大学に入ってから、また社会に出ても必要です！

大学に入ると試験は論述式がほとんどで、**提出物もレポートや論文**が主となります。また、多くの大学・学部では卒業するために、**卒業論文**を書かなくてはなりません。

就職するときも、**志望理由書**や**自己PR書**は必須です。

そして何より、小論文とは、「**自分の主張を相手に伝えるための文章**」であり、テーマ型の小論文にしても、課題文型の小論文にしても、**問題が求めていることを把握し、論点に沿って論理的に書く**必要があります。

この「**相手の主張や問題と考えていることを正確につかみ取り、それに対する自分の意見を論理的に述べる力**」は、社会に出たら、何よりも必要とされる力です。

さらに、小論文の学習を通じて、**資料やデータを読む力**、**物事を多面的に見る力**も合わせて鍛えられます。

「小論文」を書く訓練を重ねることは、**あなたが社会で生きていくために必要不可欠な力をつけることにつながる**のです。

学習の流れ

2回の授業で1サイクルとなります。

※1回目は小論文の構成の仕方を、2回目は復習の仕方を学びます。

STEP1 通信教育の小論文の問題に取り組む。

1回目の授業日の3日前まで

①通信教育(専科「受験小論文コース」または高1・高2生向けコース専科「小論文」)に取り組む。

★**答案を完成させなくてかまいません。次のものをA4のレポート用紙などに書いてください。**

- A. 問われていることは何か (課題)
- B. 自分は何について書こうと考えているか (論点)
- C. どういう題材やエピソードを盛り込もうと考えているか

※ 余力があれば、小論文の下書きまで作成していただいても結構です。



②上記のA～Cを書いた用紙の写真を撮り、ユーザサイトに提出する。

タブレットやスマートフォンで①を撮影し、ユーザサイトにデータ送信してください。

ユーザサイトはお申し込みくださった方に別途ご案内いたします。

あなたが提出したものをコーチが個別指導までにチェックして指導準備をします。

STEP2 個別指導を受ける。(授業1回目)

授業 40分

授業日時の5分前にオンライン授業システムに入室してください。

提出していただいたものを元に、次の点を中心に授業を行います。

- ①課題のとらえ方は適切か
- ②書こうとしている論点は適切か
- ③考えている題材やエピソードの中に論点に合わないものはないか、不足はないか
- ④どう構成すれば、言いたいことが伝わるか

★あなたが言いたいことはあなたの中にあるもの。コーチがそれを引き出します。

授業の最後に、解答方針が立ったか、疑問点は残っていないか、確認します。



添削課題を仕上げ、提出する

個別指導で学んだことをもとに、添削課題を仕上げ、提出しましょう。



STEP3 返却された小論文の添削問題の朱筆や解答例などを確認する。

2回目の授業日の3日前まで

①返却された答案の朱筆や解答例などを読んで、わからないところがないか確認する。

★次のものをA4のレポート用紙などに書いてください。

- A. 朱筆指導の理解度
→ 1.理解できる 2.よくわからないところがある 3.ほとんど理解できない
- B. 朱筆指導でよくわからない部分、または指摘は理解できてもどう直せばいいかわからない部分があるか、それはどこか
- C. その他、授業で相談したいこと



②上記のA～Cを書いた用紙の写真を撮り、ユーザサイトに提出する。

タブレットやスマートフォンで①を撮影し、ユーザサイトにデータ送信してください。
ユーザサイトはお申し込みくださった方に別途ご案内いたします。

あなたが提出したものと添削されて返ってきた答案をコーチが個別指導までにチェックして指導準備をします。

STEP4 個別指導を受ける。(授業2回目)

授業 40分

授業日時の5分前にオンライン授業システムに入室してください。

提出していただいたメモや添削済みの答案をもとに、
添削の朱筆の意味を説明し、どこをどう変えれば良い小論文となるのかを
コーチがあなたと一緒に考えていきます。

※1回目・2回目それぞれの授業の後には「学習ログ」をお送りします。



以上が基本的な流れですが、もう1回授業を追加して、
次のSTEP5・STEP6に進むことも可能です。

STEP5 書き直しが必要な部分を直し、再度答案を作成する。

3回目の授業日の3日前まで

①2回目の授業をふまえて書きなおしが必要な部分を書き直す。

★原稿用紙や方眼紙など、字数のわかるものを書いてください。

書き直しにあたって悩んだところがあれば、それもメモとして書いてください。

②上記の原稿用紙または方眼紙の写真を撮り、ユーザサイトに提出する。

タブレットやスマートフォンで①を撮影し、ユーザサイトにデータ送信してください。

あなたが提出した課題をコーチが個別指導までにチェックして指導準備をします。



STEP6 個別指導を受ける。(授業3回目)

授業 40分

授業日時の5分前にオンライン授業システムに入室してください。

提出していただいた課題をもとに、どのように良くなったか、
さらに良くするにはどうしたら良いかなど、
コーチがあなたと一緒に考えながら授業を行います。

※授業後に、授業でコメントした内容をまとめた「学習ログ」をお送りします。



STEP1・STEP2を省略し、STEP3～STEP6で2回の授業とすることも可能です。
詳しくはお問い合わせください。

講座料金

【月2回（40分×2回）】 ※オンライン個別指導を1カ月に2回おこないます。
※授業2回で1サイクル、1回の授業時間は40分です。

【医学部医学科以外を志望の方】
月額 11,440円(税込)

【医学部医学科を志望の方】
月額 12,120円(税込)

【授業追加料金】 ※1回の授業時間は40分です。

【医学部医学科以外を志望の方】
1回 5,720円(税込)

【医学部医学科を志望の方】
1回 6,060円(税込)

【注意！】

上記の料金にZ会の通信教育(専科「受験小論文コース」、高1・高2生向けコース専科「小論文」)の受講料金は含んでおりません。
受講されていない方は、別途受講料金(12カ月一括払いの場合、1カ月あたり、専科「受験小論文コース」は5,082円/月、高1・高2生向けコース専科「小論文」は3,212円/月)が必要となります。

お問い合わせ・お申し込み

「わからないことや質問したいことがある」、「申し込みをしたい」という方は、次の「Z会のオンライン個別指導 お問い合わせ・お申し込みフォーム」にご入力（Z会教材コースを選択）いただくか、またはお電話にてお問い合わせください。

▽Z会のオンライン個別指導 お問い合わせ・お申し込みフォーム

お問い合わせ・お申し込み



https://service.zkai.co.jp/enquete_sp/?s=online_inquiry

▽お電話でのお問い合わせの場合

電話(通話料無料) : 0120-2233-67

※受付時間/火曜日～土曜日 14:00～21:00

お申し込み完了までの流れ

- ① 「Z会のオンライン個別指導 お問い合わせ・お申し込みフォーム」に入力 または お電話にてお申し込み
- ② Z会より、お電話にて、ご希望内容のご確認
利用予定の教材・コース、初回授業日のご希望などをお伺いし、
オンライン授業を受けるための準備等についてZ会スタッフがご説明します。
※海外在住の方へはメールにてご連絡いたします。
- ③ お申し込み完了

通信教育専科「受験小論文コース」、高1・高2生向けコース専科「小論文」の詳細は下記のサイトを参照ください。



<https://www.zkai.co.jp/high/juken/lineup-s-juken-shouron-iryou/>

<https://www.zkai.co.jp/high/juken/lineup-s-juken-shouron-bunkei/>

<https://www.zkai.co.jp/high/k1k2/lineup-s-shouronbun/>